



川端龍子《越後（山本五十六元帥像）》1943年、大田区立龍子記念館蔵
Kawabata Ryushi, Echigo Province (Admiral Yamamoto Isoroku), 1943

名作展 時局と画家—川端龍子の1930～40年代

2025年 7月12日(土)～9月21日(日)

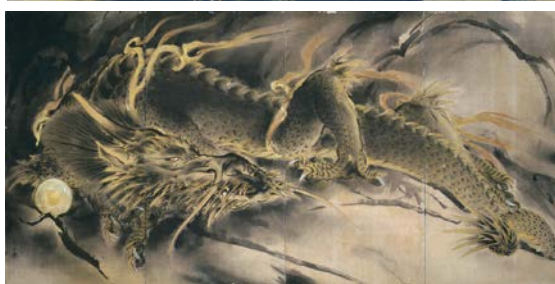
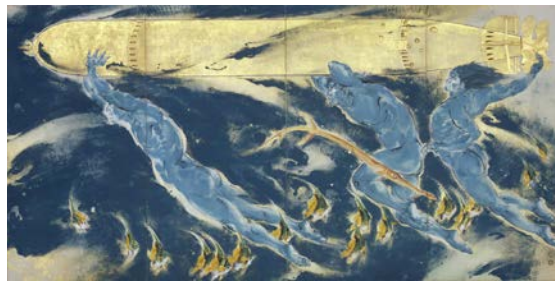
- 開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 入館料 一般200円、中学生以下100円
※65歳以上(要証明)、未就学児及び障がい者手帳等をお持ちの方
とその介護者1名は無料
- 休館 毎週月曜(祝日の場合は開館し、その翌日に休館)

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1
ハローダイヤル 050-5541-8600

Ryushi Memorial Museum

Kawabata Ryushi Exhibition | July 12 - September 21, 2025
"His Paintings and War in The 1930s and 1940s"



【左】川端龍子《怒る富士》1944年
大田区立龍子記念館蔵
Kawabata Ryushi, *Mt. Fuji in Anger*, 1944

【右上】川端龍子《水雷神》1944年
大田区立龍子記念館蔵
Kawabata Ryushi, *Gods of Torpedoes*, 1944

【右下】川端龍子《臥龍》1945年
大田区立龍子記念館蔵
Kawabata Ryushi, *Lying Dragon*, 1945



名作展 時局と画家
— 川端龍子の1930～40年代
2025年7月12日(土)～9月21日(日)
Ryushi Kawabata Exhibition | July 12 - September 21, 2025
“His Paintings and War in The 1930s and 1940s”

—戦争に捲った暁にさて芸術が無いとあつては淋しいものでしょう—

戦後80年、戦争の時代に画家たちは何を思い、作品を制作していたのでしょうか。上の一節は、太平洋戦争の破局的な状況下、1945年6月に画室で展覧会を開催した日本画家・川端龍子(1885-1966)が案内状に書いたものです。そして、終戦間際に龍子は自宅を空襲で失うものの、10月には展覧会を開き、弱りきった龍に焼け跡から始まる戦後日本を象徴的に表した《臥龍》(1945)を発表したのでした。

本展では、「川端龍子の1930～40年代」をテーマに、龍子が自身で設立した美術団体・青龍社の展覧会で発表した作品を中心に、対日感情の悪化と昭和恐慌に揺れ「非常時」と呼ばれた1930年代の作品からは、大画面の連作に取り組んだ《波切不動》(1934)、《郷子の篝火》(1935)、《源義経(ジンギスカン)》(1938)等を出品します。また、太平洋戦争開戦後の作品では、海軍大将・山本五十六が戦死した年に描いた《越後(山本五十六元帥像)》(1943)、悪化する戦局への怒りや悲しみを表した《怒る富士》、《水雷神》(1944)等を展示し、画家として龍子が表した戦争への姿勢から、時局と画家について考えます。

関連イベント

ギャラリートーク

開催日：7月27日(日)、8月24日(日)、9月21日(日)

各日13:00から展示室にて40分程度

地域連携企画事業 講演会「時局と画家」鑑賞ガイド

日時：8月16日(土)13:30～15:00

会場：大田文化の森 第3・4集会室

定員：70名(定員を超えた場合は抽選)

締切：7月30日(水) 必着

講師：大田区立龍子記念館 主任学芸員 木村拓也



大田文化の森運営協議会
イベントカレンダーから
お申込みいただけます。
6月上旬頃に公開予定

地域連携事業「夏の夜のミュージアム・ライブ」

日時：8月30日(土)18:30～19:30

会場：龍子記念館 展示室内

定員：50名(定員を超えた場合は抽選)

締切：8月19日(火) 必着

出演：ジャムシッド・ムラディ(フルート)、

下館直樹(ギター)、ニ・テテ・ボーイ(パーカッション)



大田区文化振興協会
募集情報からお申込み
いただけます

龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、龍子設計の旧宅と画室を開館日に解説とともにご覧いただけます。



画室

ご案内時刻 (1日3回)

10:00、11:00、14:00 から開門します。(30分程度)

Ryushi Garden Guided Tour 10:00、11:00、14:00～

次回展の予定

川端龍子生誕140年特別展「川合玉堂と川端龍子(仮称)」
2025年10月11日(土)～11月9日(日)

当館へのアクセス



- JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番
「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から
南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分

Access

Ryushi Memorial Museum

4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024
TEL: 050-5541-8600

- ・From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.
- ・15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

Information

Opening Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)
Admission Adults: 200yen, Minors: 100yen
Children under 6 and seniors over 65 are free
Closing Days Mondays (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

Kawabata Ryushi (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1

ハローダイヤル: 050-5541-8600

記念館直通: 03-3772-0680

<https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/>



えがく かなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会